



J E X
J A P A N
S E X
S U R V E Y

【ジェクス】ジャパン・セックスサーベイ 2017



調査目的と方法

はじめに

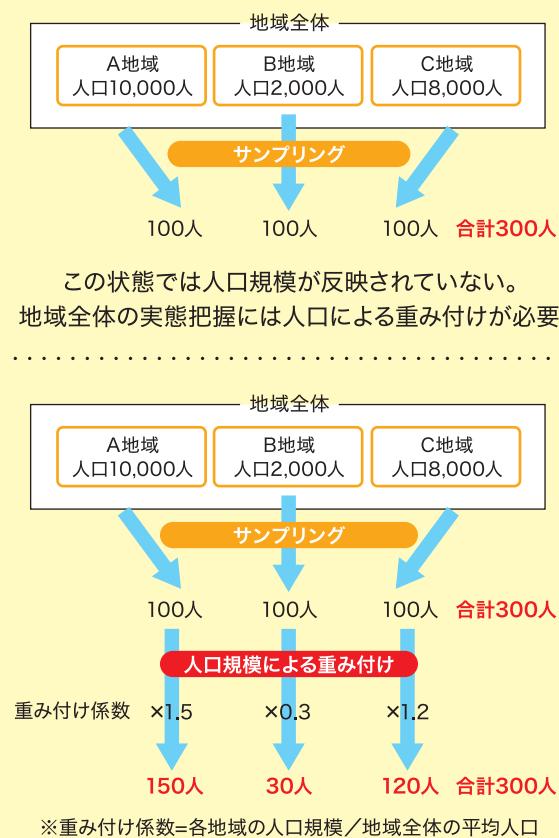
2013年に引き続き、ジェクス株式会社からの依頼を受けて【ジェクス】ジャパン・セックスサーベイを実施致しました。インターネットによる調査では事前登録者からサンプルを抽出するために、正確性についての疑問もあるかと思いますが、短期間に大規模な調査が可能であること、対面調査では難しい個人の性に踏み込んだ本音の回答が得られるなどの利点があります。この調査を継続的に実施することで、わが国の最も信頼のおける性の指標となれるよう、今後も経年的な調査を行っていきたくと考えております。

一般社団法人 日本家族計画協会/家族計画研究センター 所長 北村 邦夫

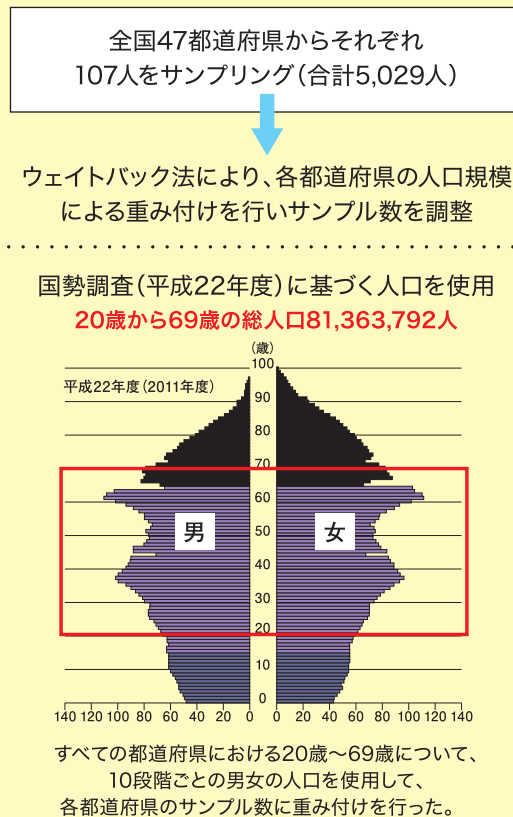
調査の概要

1. 調査対象 全国の満20歳～69歳の男女
2. 調査期間 2016年10月21日～24日
3. 調査方法 インターネットリサーチ
4. 調査実施機関 株式会社 クロス・マーケティング ※提携パネル:リサーチパネル
5. 回収結果
 - ①配信数 53,915人
 - ②回答数 5,608人
 - ③有効回答数 5,029人
 - ④無効回答数 579人
 - ⑤回答率 約9%
6. 集計に関してはウェイトバック法を適用
都道府県比較を行うために、47都道府県から回収順に従って均一に107サンプルを収集。合計5,029人を集計対象とした。さらに全国データとして解析すべく、各都道府県から回収されたサンプルを実際の都道府県の人口比率に合わせて集計し直した。

ウェイトバック法の具体例

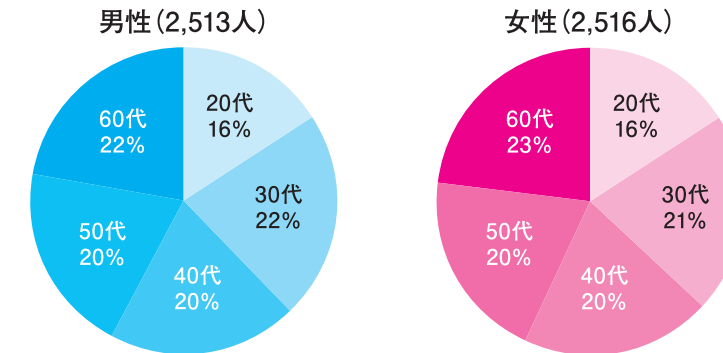


本調査のサンプリング



回答者の属性

回答者の性別・年齢



ウェイトバック調整後の回答者の性別・年齢・婚姻関係の有無

	合計	未婚	初婚	再婚	離婚	死別	婚姻あり	婚姻関係なし	
		①	②	③	④	⑤	②+③	①+④+⑤	
全体	5,029	34.7%	52.1%	4.2%	7.2%	1.8%	56.4%	43.6%	
男性	総数	2,513	40.9%	49.1%	4.2%	5.1%	0.7%	53.3%	46.7%
	20代	414	85.2%	14.0%	0.0%	0.7%	0.1%	14.0%	86.0%
	30代	553	57.3%	37.3%	2.8%	2.6%	0.0%	40.1%	59.9%
	40代	511	40.4%	50.3%	4.3%	4.7%	0.2%	54.6%	45.4%
	50代	494	19.0%	63.9%	7.1%	9.4%	0.6%	70.9%	29.1%
女性	総数	2,516	28.5%	55.2%	4.2%	9.3%	2.8%	59.4%	40.6%
	20代	401	69.5%	28.5%	0.8%	1.2%	0.0%	29.3%	70.7%
	30代	537	35.3%	54.4%	3.7%	6.2%	0.3%	58.1%	41.9%
	40代	503	29.5%	55.3%	6.4%	7.6%	1.2%	61.7%	38.3%
	50代	500	15.1%	61.3%	7.4%	14.3%	1.9%	68.7%	31.3%
60代	576	4.4%	69.1%	2.3%	14.8%	9.4%	71.3%	28.7%	

ウェイトバック調整後の各都道府県のサンプル数

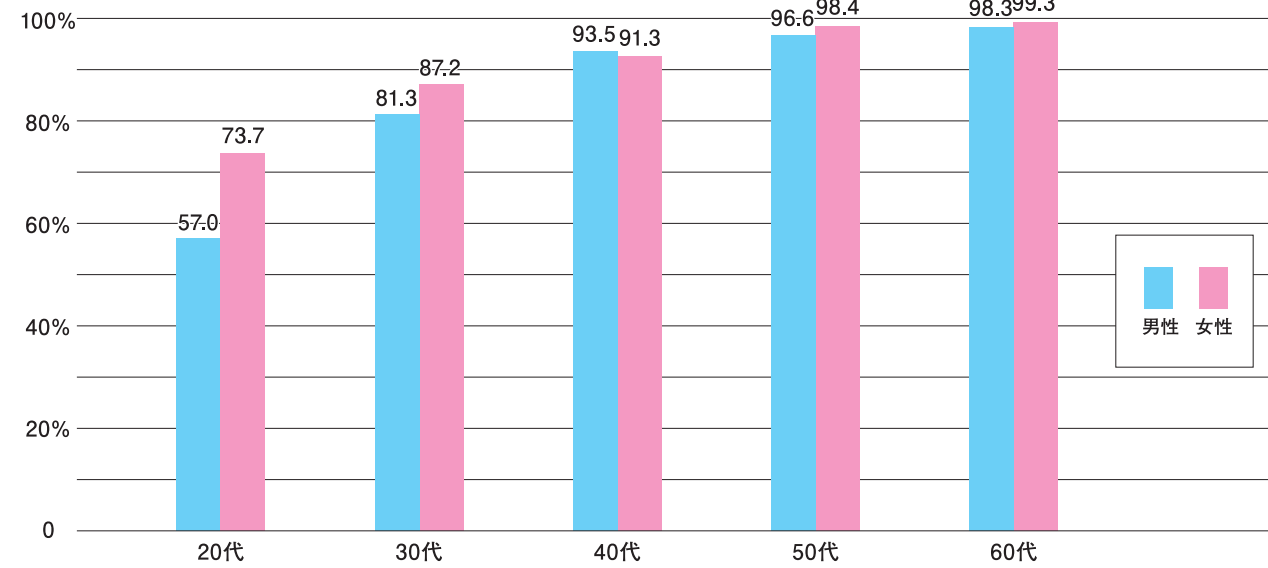
都道府県	サンプル数	割合	都道府県	サンプル数	割合	都道府県	サンプル数	割合
北海道	221	4.4%	石川県	45	0.9%	岡山県	74	1.5%
青森県	53	1.1%	福井県	30	0.6%	広島県	110	2.2%
岩手県	50	1.0%	山梨県	33	0.7%	山口県	55	1.1%
宮城県	93	1.8%	長野県	80	1.6%	徳島県	30	0.6%
秋田県	41	0.8%	岐阜県	80	1.6%	香川県	38	0.7%
山形県	43	0.9%	静岡県	146	2.9%	愛媛県	54	1.1%
福島県	77	1.5%	愛知県	293	5.8%	高知県	29	0.6%
茨城県	118	2.3%	三重県	71	1.4%	福岡県	199	4.0%
栃木県	79	1.6%	滋賀県	55	1.1%	佐賀県	32	0.6%
群馬県	78	1.5%	京都府	102	2.0%	長崎県	54	1.1%
埼玉県	296	5.9%	大阪府	350	7.0%	熊本県	68	1.4%
千葉県	249	5.0%	兵庫県	218	4.3%	大分県	45	0.9%
東京都	538	10.7%	奈良県	55	1.1%	宮崎県	43	0.8%
神奈川県	371	7.4%	和歌山県	38	0.8%	鹿児島県	63	1.3%
新潟県	91	1.8%	鳥取県	22	0.4%	沖縄県	53	1.1%
富山県	42	0.8%	島根県	26	0.5%	全体	5,029	100.0%

※ウェイトバック調整後の数値を小数点第2位で四捨五入しているため、合計が小計の数字と一致しない場合があります。また、各回答の百分率は、原則として小数点第2位を四捨五入しているため、単数回答の質問では合計が99.9%や100.1%となる場合があります。

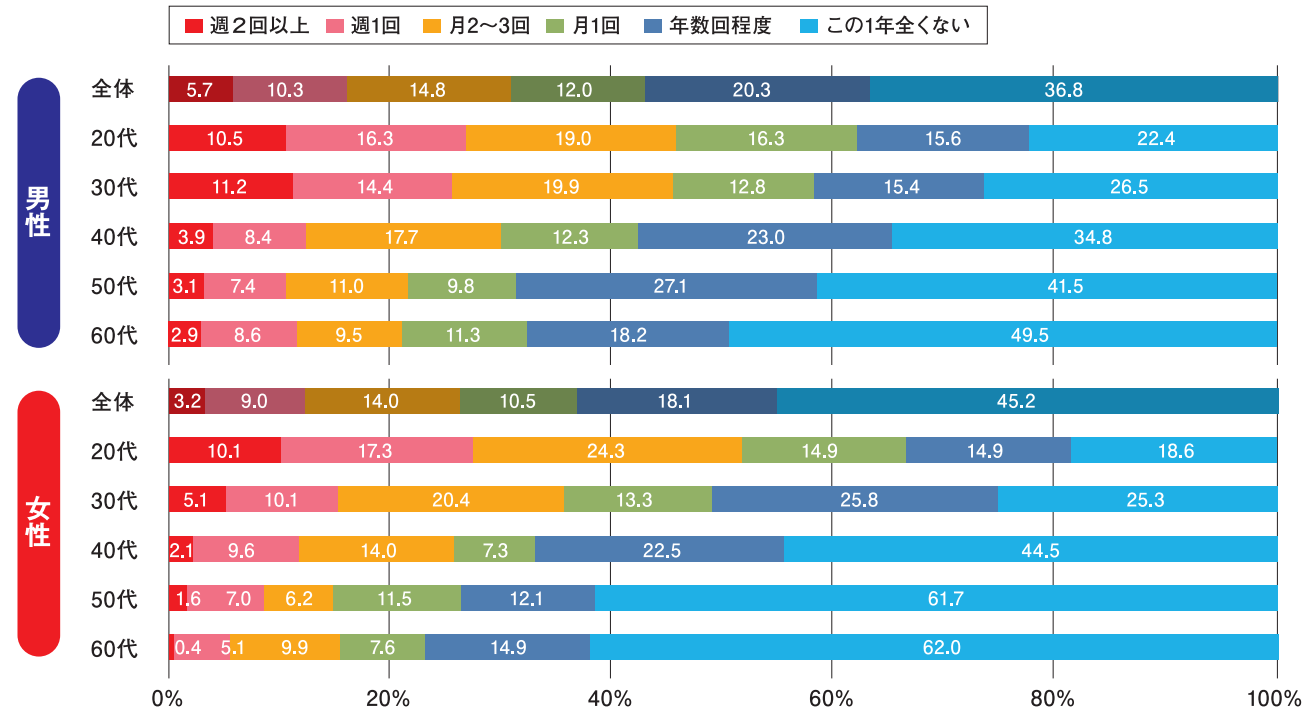


日本人のセックス経験・頻度・目的の現状

セックス(性交渉)経験「あり」の割合

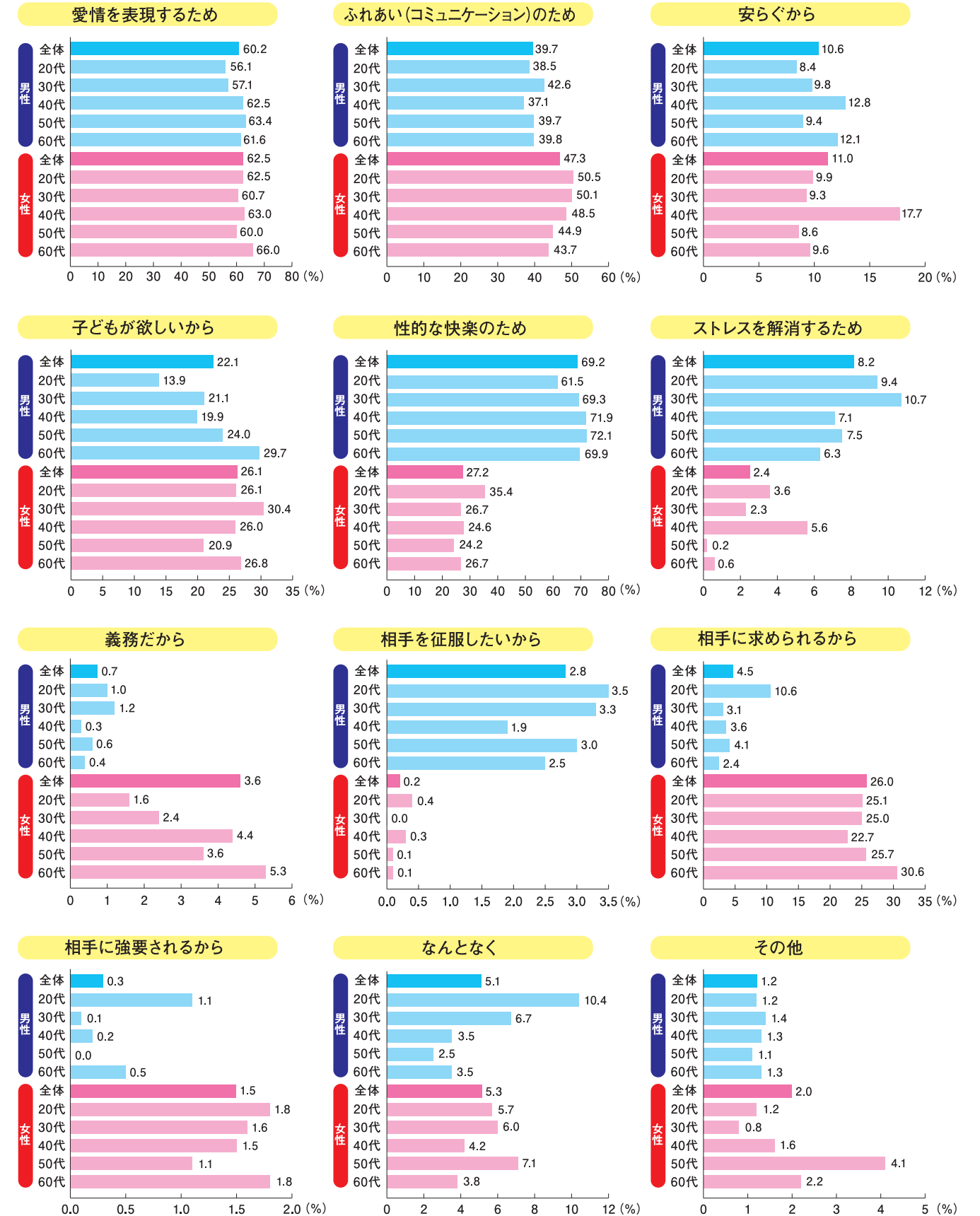


セックス経験者のうち、(特定の相手に限らず)この1年間のおよそのセックス回数は?



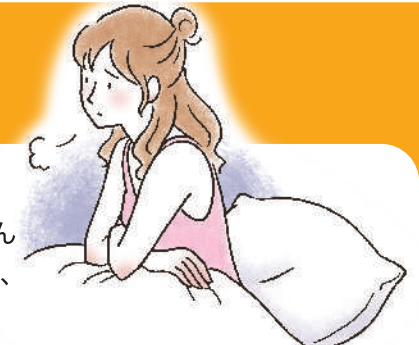
全体では
男性36.8%、女性45.2%が
この1年間全くセックスを
していない

あなたがセックスをする目的は?(経験のない人はイメージで)(3つまで)



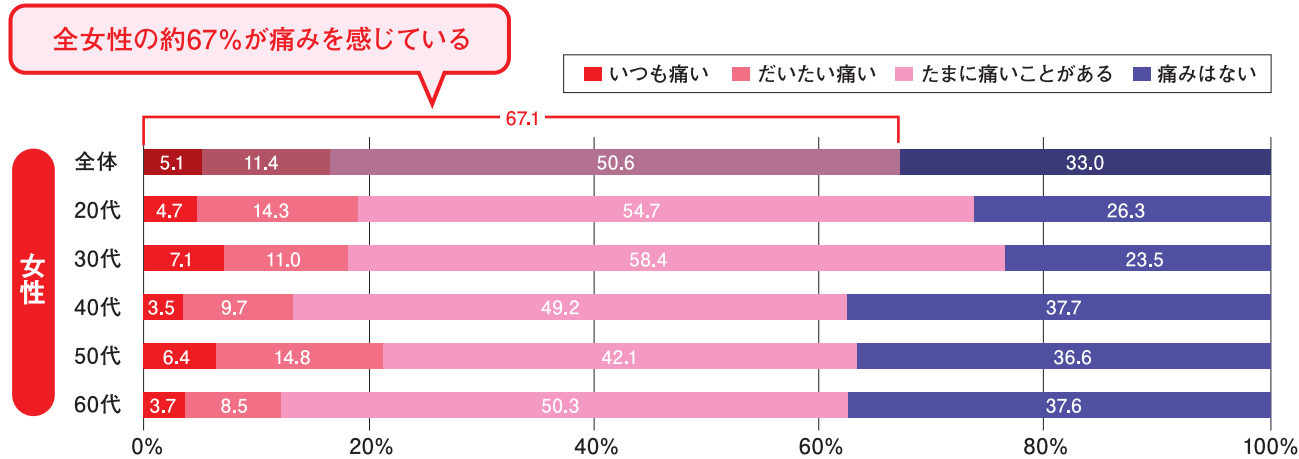


性交痛はみんなの悩み。多くの女性がセックス時に痛みを感じている

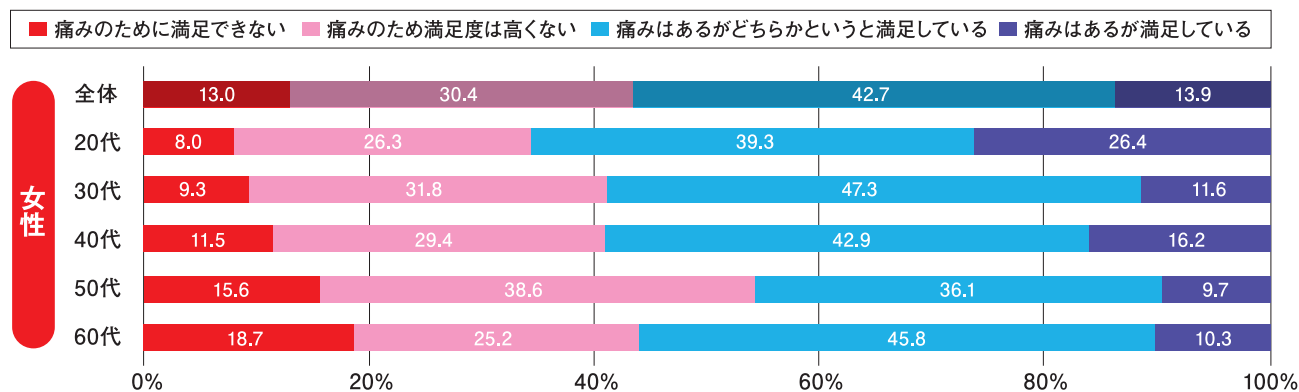


膣内の潤い不足による性交痛は、ホルモンバランスが大きく変化する中高年期や、産後に多くみられる症状だと思われていました。しかし今回の調査でも、年齢や出産経験の有無にかかわらず、誰もが日常的に抱える問題であることが明らかとなりました。

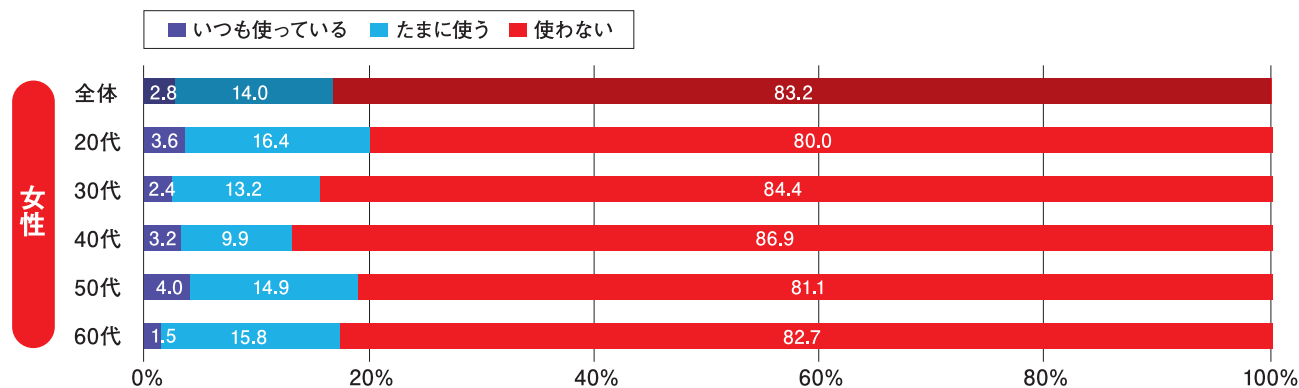
セックスのときに痛み(性交痛)を感じることもあるか



性交痛がある女性の性的満足度



性交痛とその際の潤滑ゼリーの使用について



うるおいを補って性交痛を緩和する、潤滑ゼリーの使用率は、決して高くはありませんでしたが、ホルモン剤などの薬品を含まない水溶性の潤滑ゼリー「リューブゼリー」は、安全でどの年代の方でも気軽に使えるため、病産院でもおすすめされています。

うるおい不足によっておこる性交時の痛みや違和感を緩和する
局部用潤滑ゼリーです

リューブゼリー

ワンタッチキャップで使いやすい容量選べる2タイプ

- 無臭・無色透明。
- 殺菌処理済。
- 内容量 55g 1,000円(税抜)
- 内容量 110g 1,800円(税抜)

リューブゼリー Hot

温感タイプで冷たさをやわらげしてくれる

- あたたか温感ゼリー
- 無臭・無色透明。
- 殺菌処理済。
- 内容量 55g 1,000円(税抜)

分包タイプ

携帯にも便利なパック包装

●内容量 5g×5包入 600円(税抜)

デリケートイン

ワンプッシュで手を汚さない

●内容量 6g×4本入 1,000円(税抜)

Excellent

ヒアルロン酸・コラーゲン配合で湯ににくい

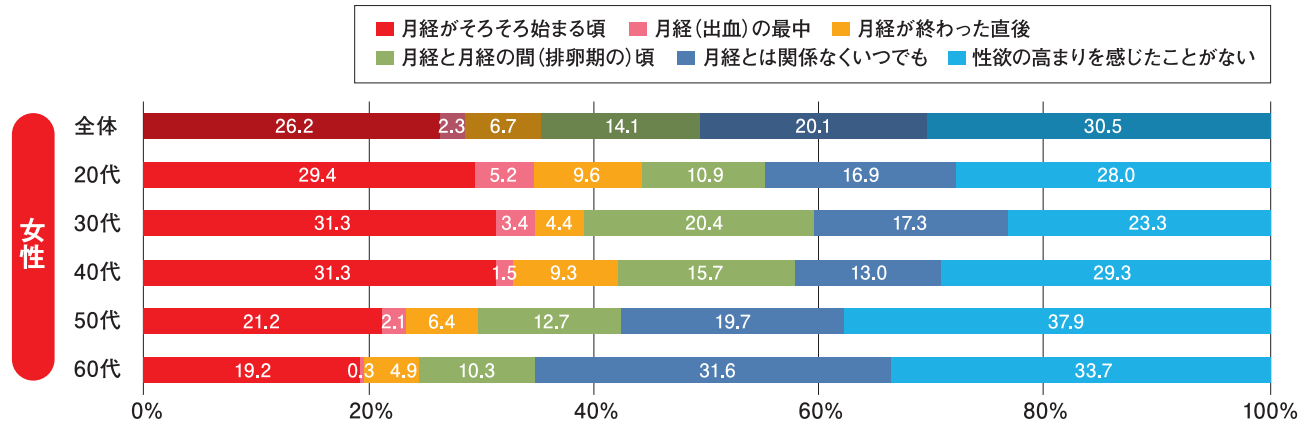
●内容量 30g×2本入 2,000円(税抜)

全国のドラッグストア・薬局・薬店の避妊コーナー等でお買い求めいただけます。

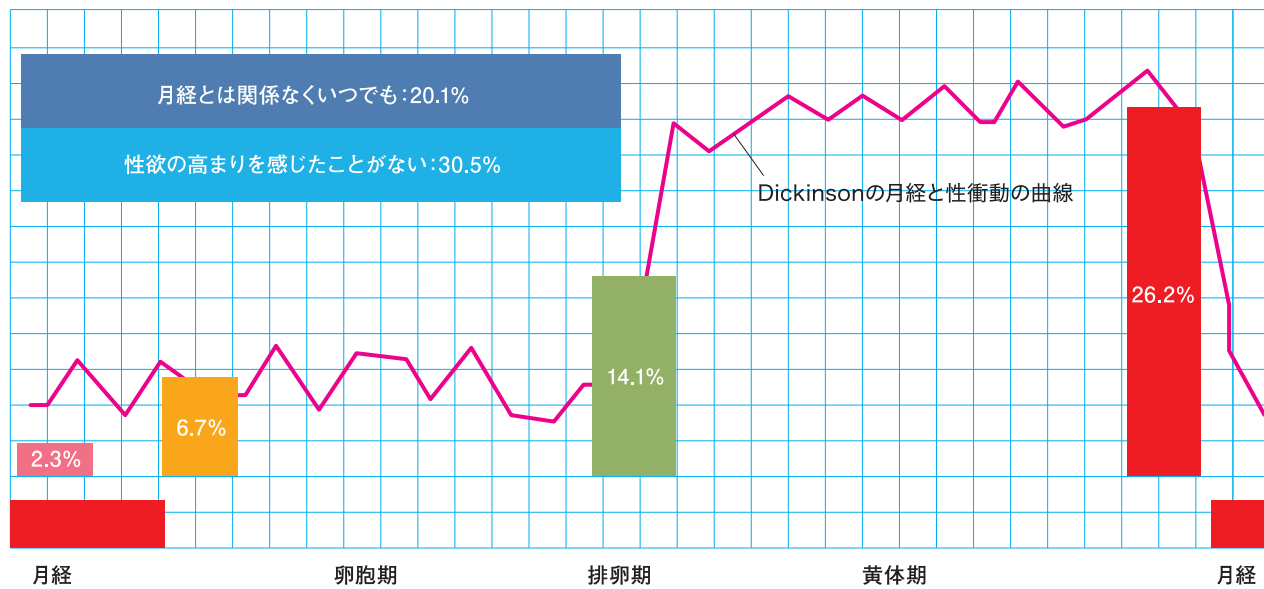


月経と性欲の関係

女性の性欲が高まるのはどんなときか (すでに月経のない方は、あった頃をイメージして)



性欲が高まる時期と排卵・月経との関係(女性)

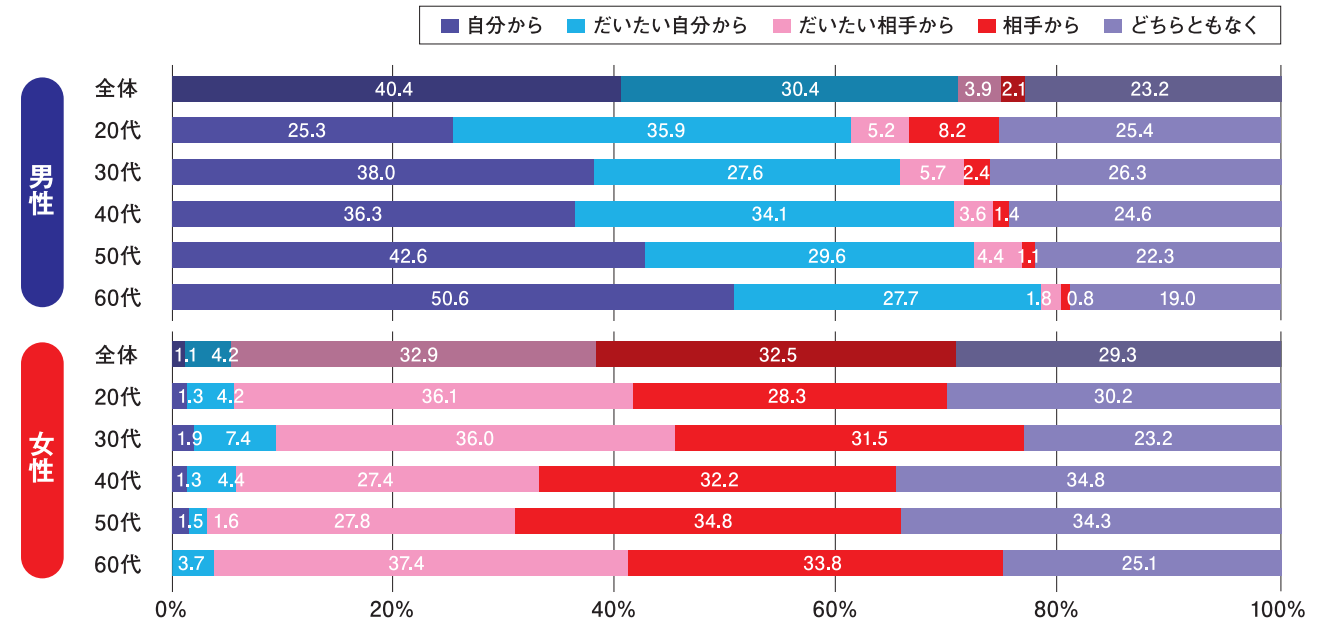


性欲と排卵・月経との関係では、「月経がそろそろ始まる頃」が26.2%と高く、「月経と月経の間(排卵期)頃」は14.1%という結果になりました。これは、女性の性交は月経という現象の前後に多く行われているという、Dickinsonの月経と性衝動の曲線とは、いくばくか異なっているようです。「月経とは関係なくいつでも」が60代で31.6%、「月経と月経の間(排卵期)頃」が30代で20.4%、「月経がそろそろ始まる頃」が20代から40代で高いことなど、生殖可能年齢とその後の年代での違いが興味深く表れています。

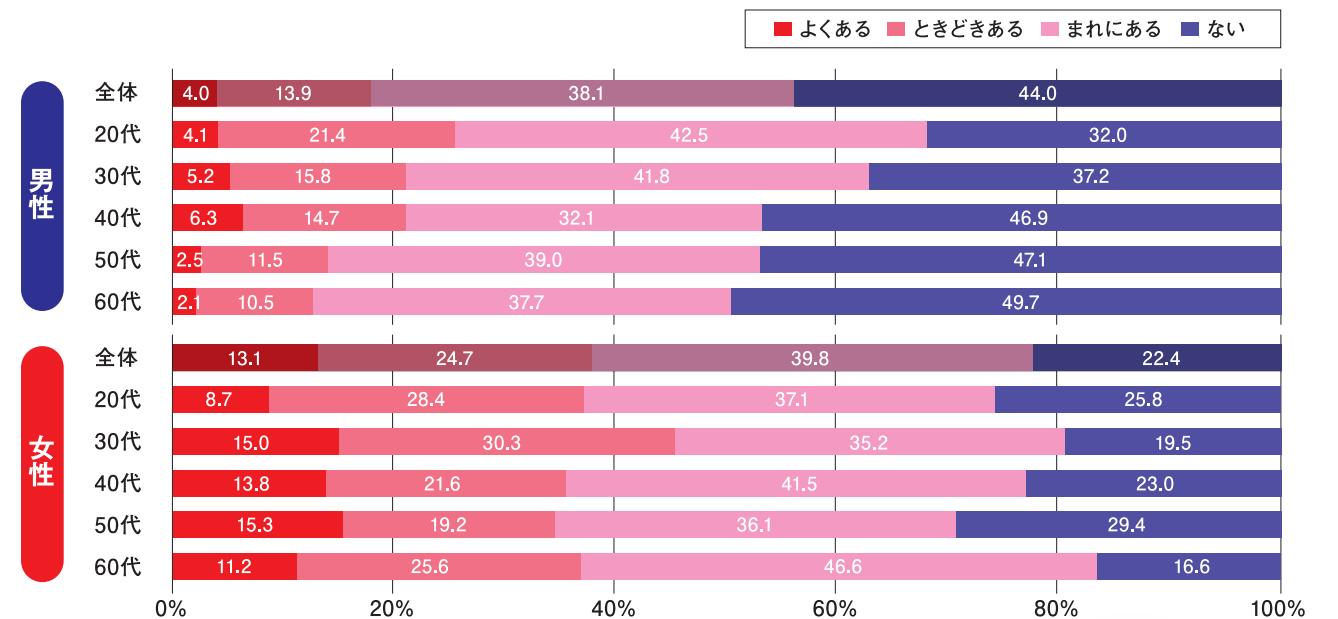


女性は本当に肉食化したのか?

どちらからセックスを求めることが多いか?



気乗りしないセックスに応じることがあるか



わが国では、求めるのは男性、応じるのは女性という固定的なセックス観が定着していますが、若い世代では、その関係が崩れ始めようとしています。とはいえ、この結果からだけで、女性が肉食化しているというのは乱暴です。

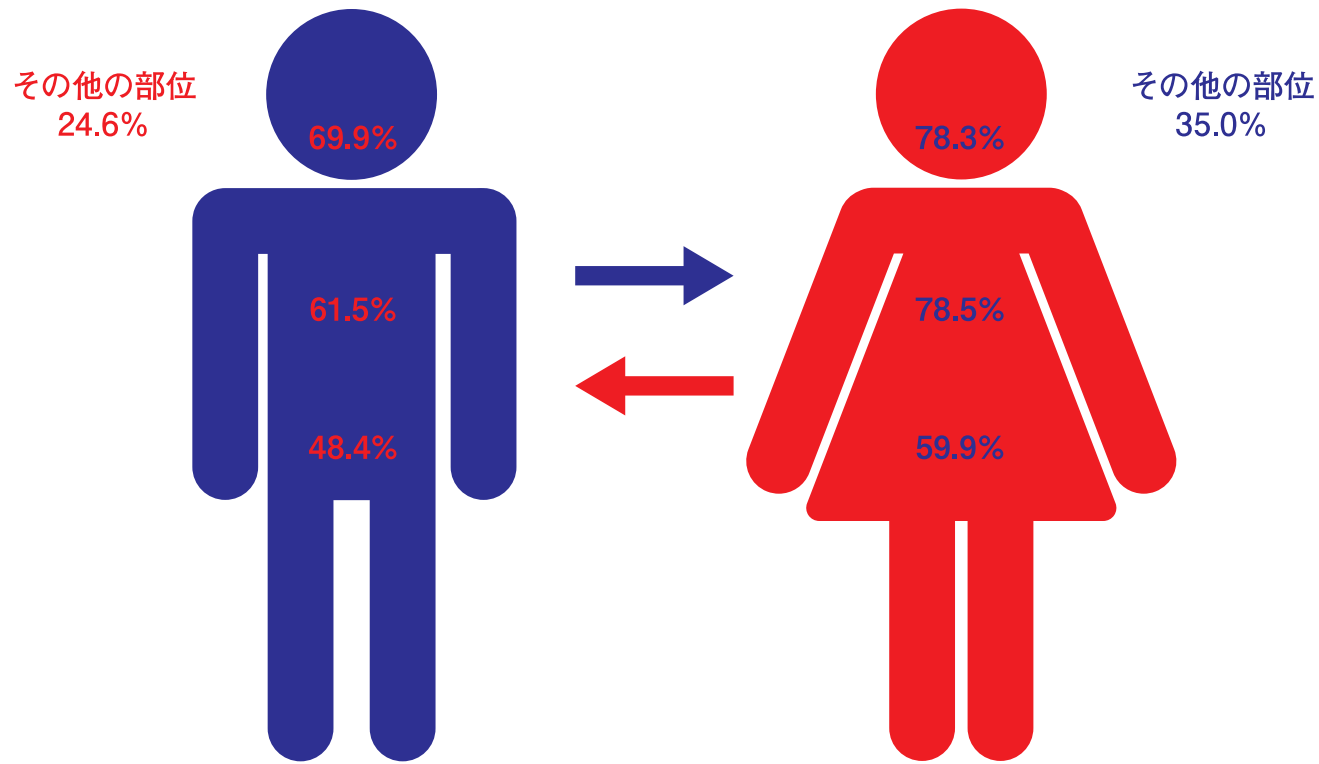




男性も女性も年を重ねるほどキスをしなくなる？

前戯の部位はどこが多い？

男女・年齢別の前戯の特徴としては、「口唇へのキス」は男女ともに若い世代の方が多く、「性器へのキス・愛撫」は、男性では年齢が上の方が、女性では年齢が若い方が多い傾向にあります。



セックスだけに限らず、性的接触には常にリスクが伴うことを知っておいてください。特に、口唇へのキスや性器へのキスなどの行為は、常に性感染症の感染の危険性を考慮する必要があります。

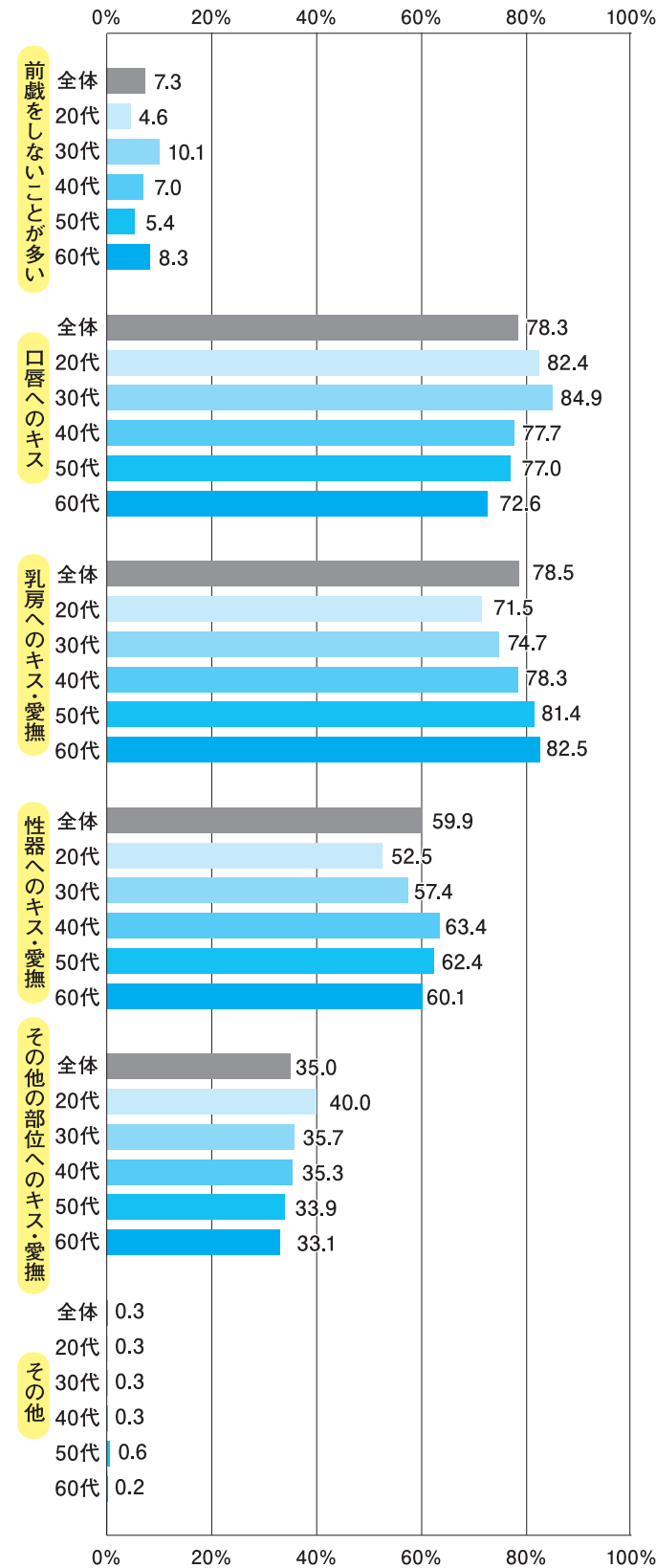


「潮を吹くこと」=「オーガズム(性的絶頂感)」とは限らない

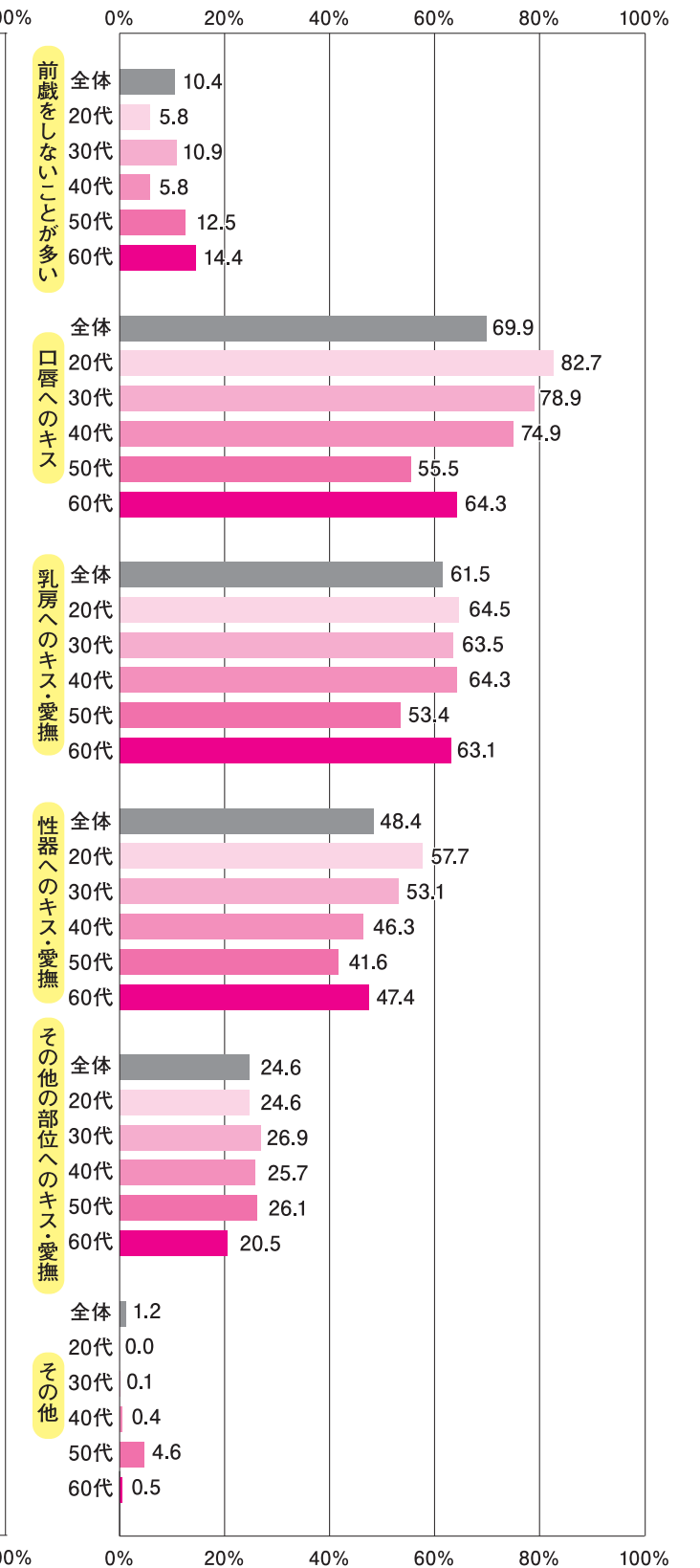
アダルトビデオなどの影響により、女性に潮を吹かせるために、過剰に膣を刺激しようとする男性がいます。女性に満足してもらおうと思ってのその行為も、膣壁を傷つけたり、出血を起こさせてしまったり、愚かな行為としか言えません。女性は潮を吹かなくともオーガズムを得ることができます。互いを思いやり、コミュニケーションを図って、双方が幸せを感じられるかどうか大切です。

よく行う前戯とは

男性

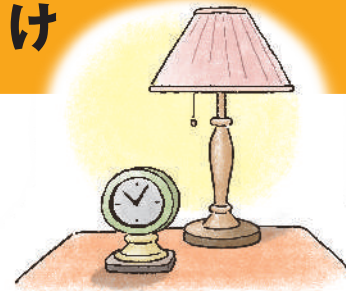


女性



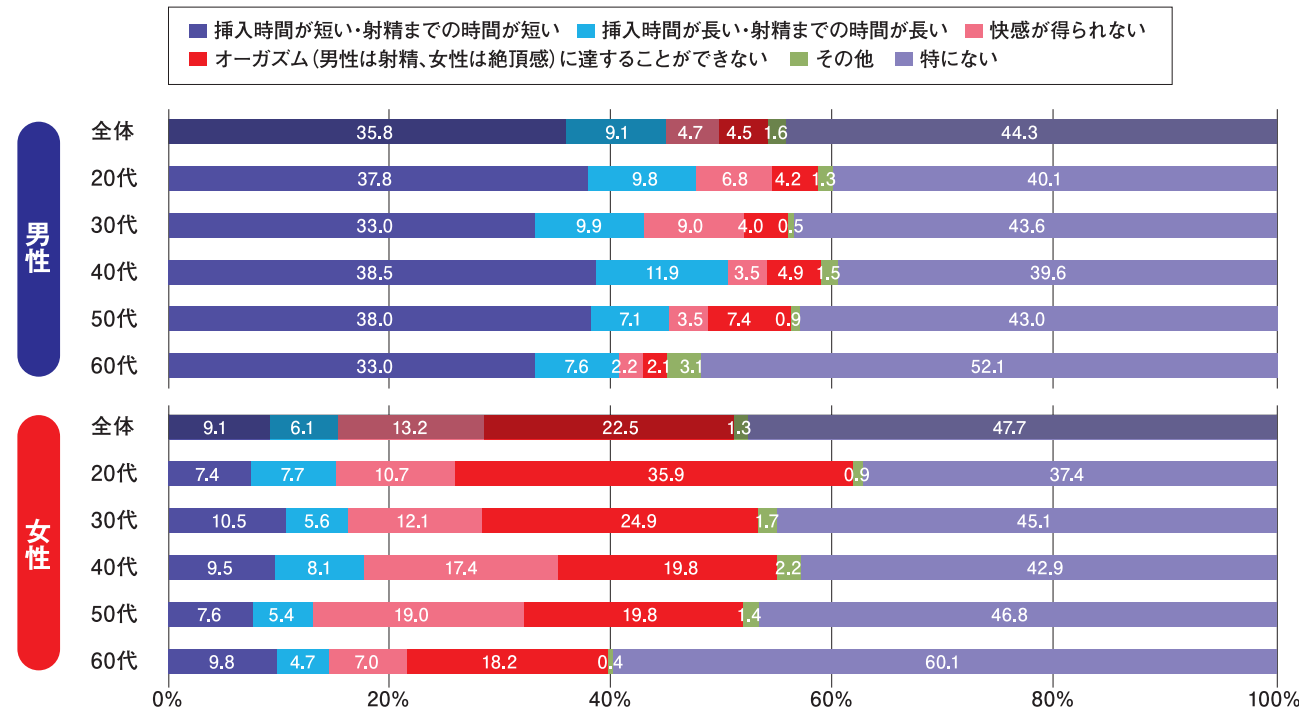


早さを気にするのは男性だけ



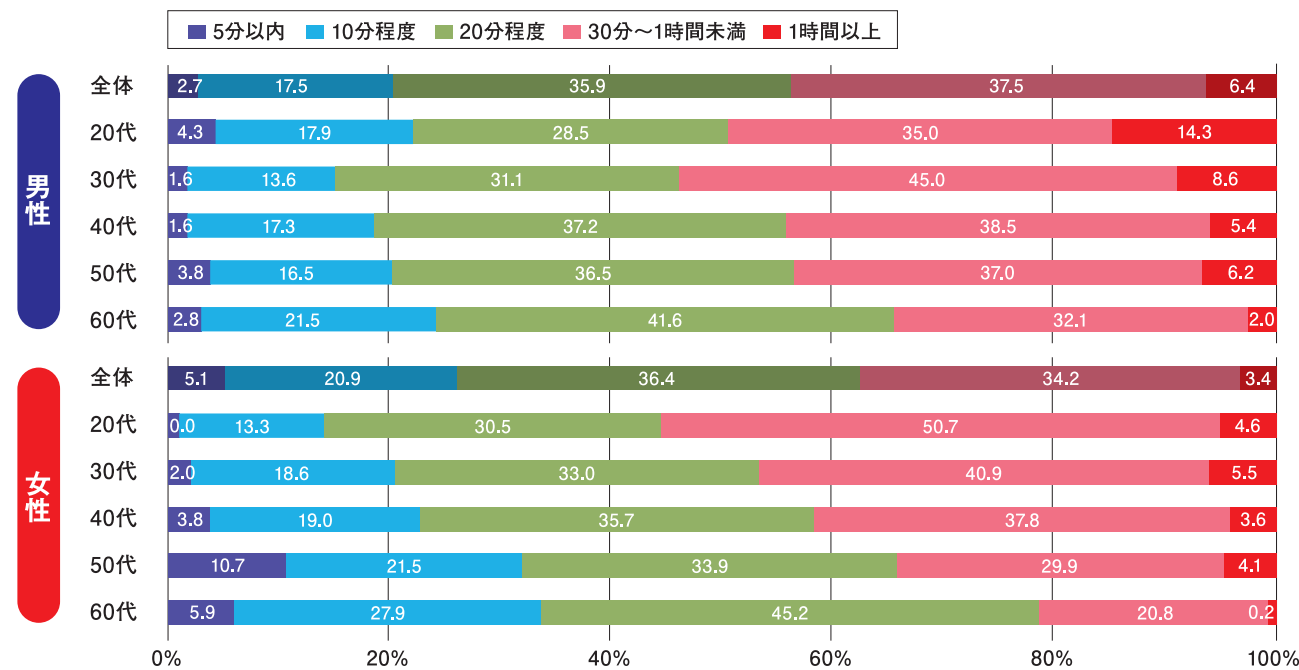
セックスの際の悩みに関する質問では、各年代の男性の3割以上が挿入時間の短さを悩みとして挙げているのに対し、女性は1割にも達していません。女性はむしろ、時間よりも快感や満足感を得られないことを悩みとして挙げています。

セックスの際の悩み



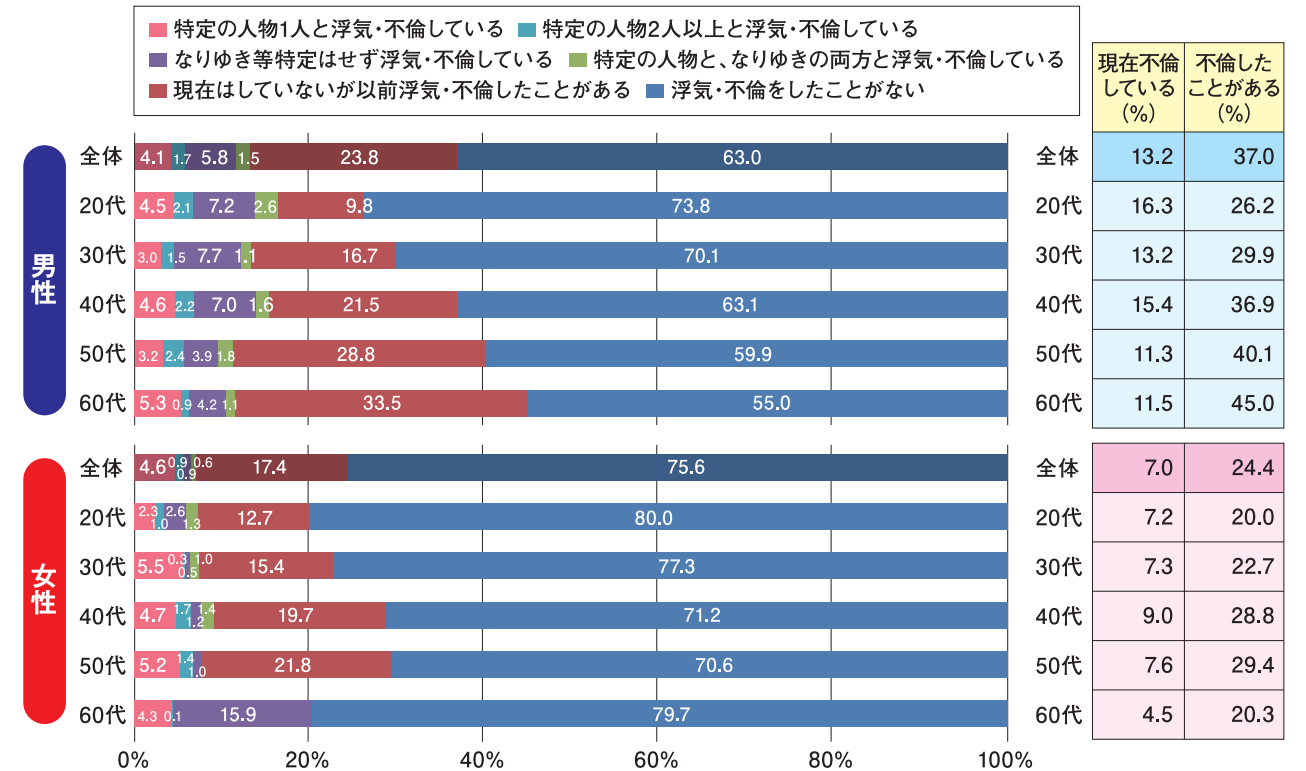
またほとんどの年齢において、女性よりも男性の方が、セックスの所要時間を長く回答しており、このことから、男性が自己を過大に評価している可能性が見て取れます。

1回のセックス(前戯から終了まで)に要する時間



何かと話題の「浮気・不倫」。実際みんなはしているの？

現在、浮気・不倫(結婚相手あるいは特定の恋愛相手以外のひととのセックス、性風俗を含む)しているか



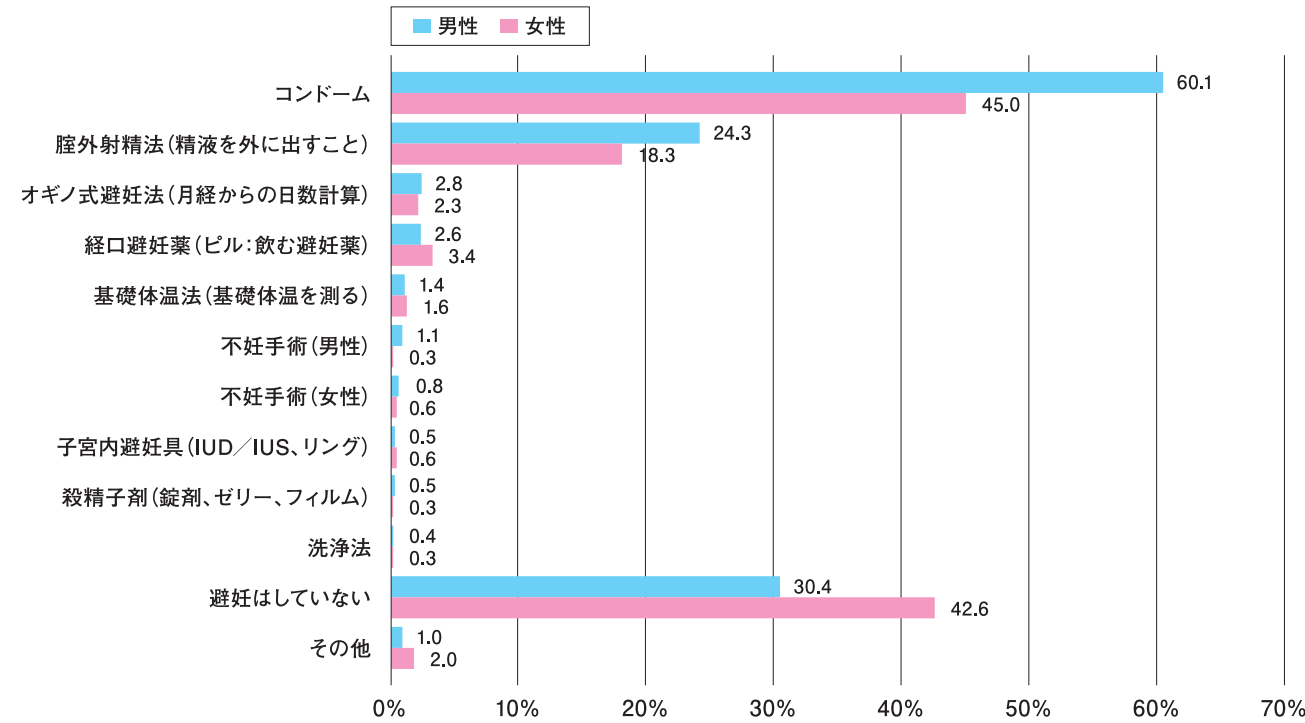
男性は3人に1人、女性は4人に1人が浮気・不倫経験あり
男性は「なりゆき」、女性は「特定の人物1人」の傾向



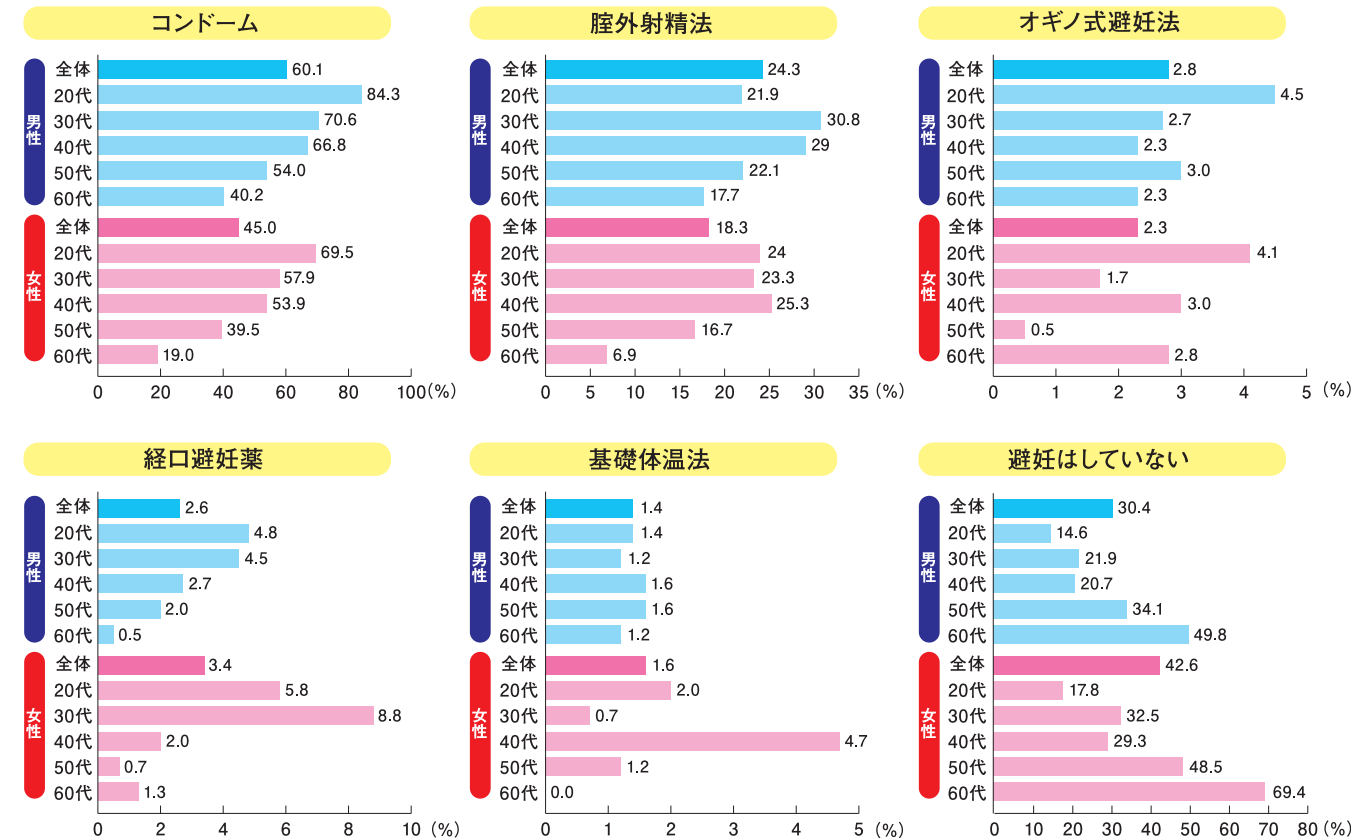


避妊のためだけでなく、性感染症予防のためにもコンドームを

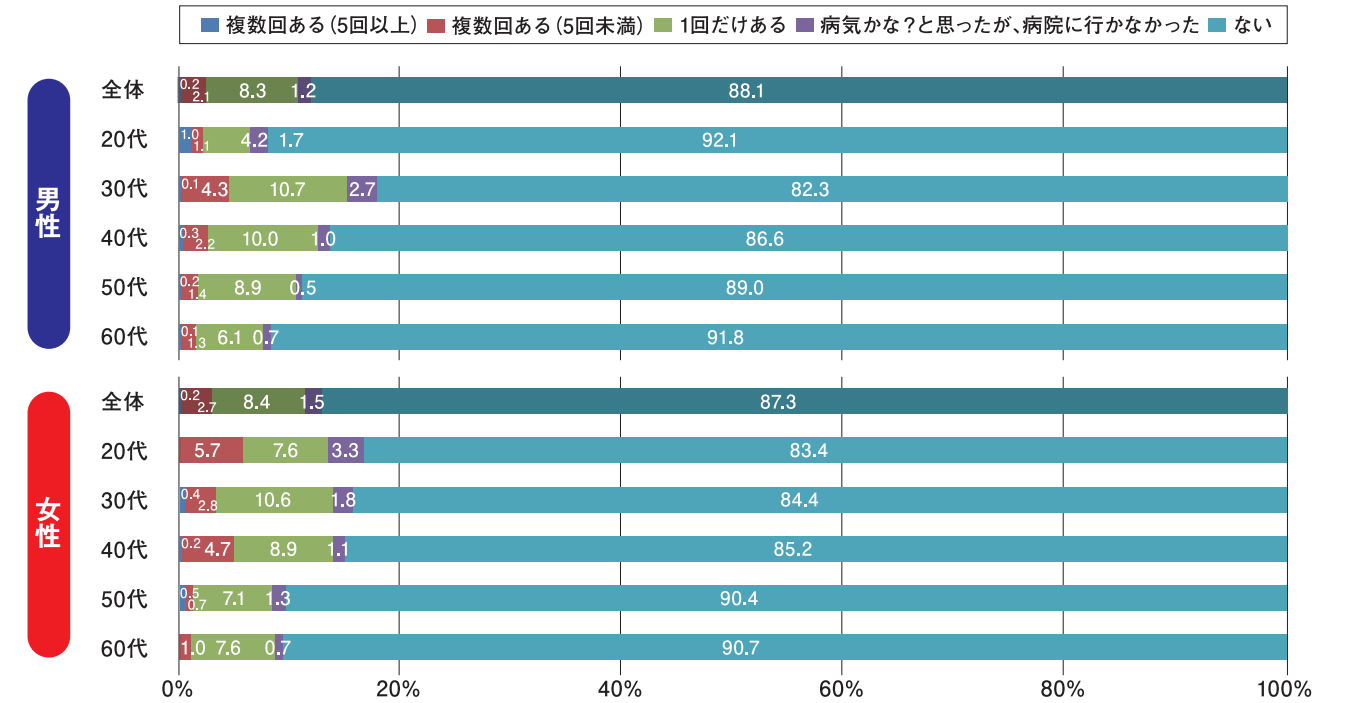
現在の主な避妊方法はどれか(複数回答可)



主な避妊方法の年代別比較(一部抜粋)



(セックス経験者)過去に性感染症になった経験は?

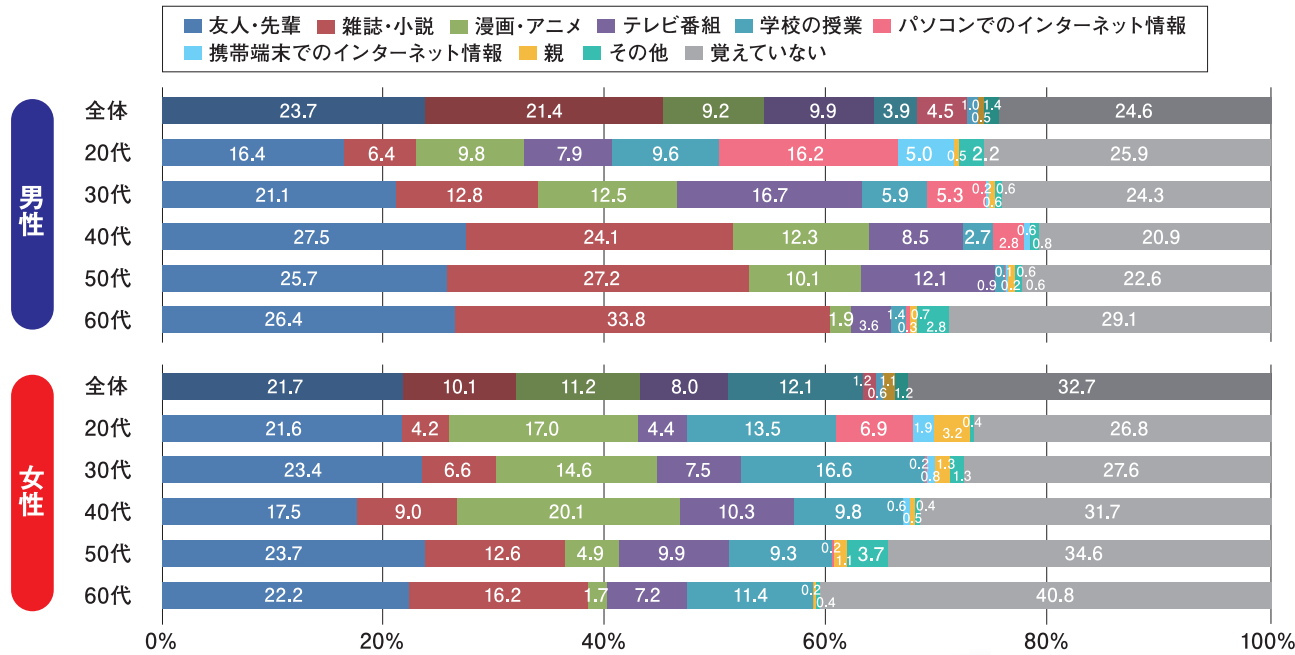


日本人が他の国と大きく異なるのが避妊法選択。どのような調査でも、老若男女を問わず第1位はコンドーム、次いで、膣外射精法となっています。妊娠は男性には絶対に起こり得ないのに、避妊を男性任せにしている、本当にいいセックスができるのか疑問を抱かずにはおれません。もちろん、性感染症予防にはコンドームが有効であることは言うまでもありません。



今はネットでセックスを知る時代

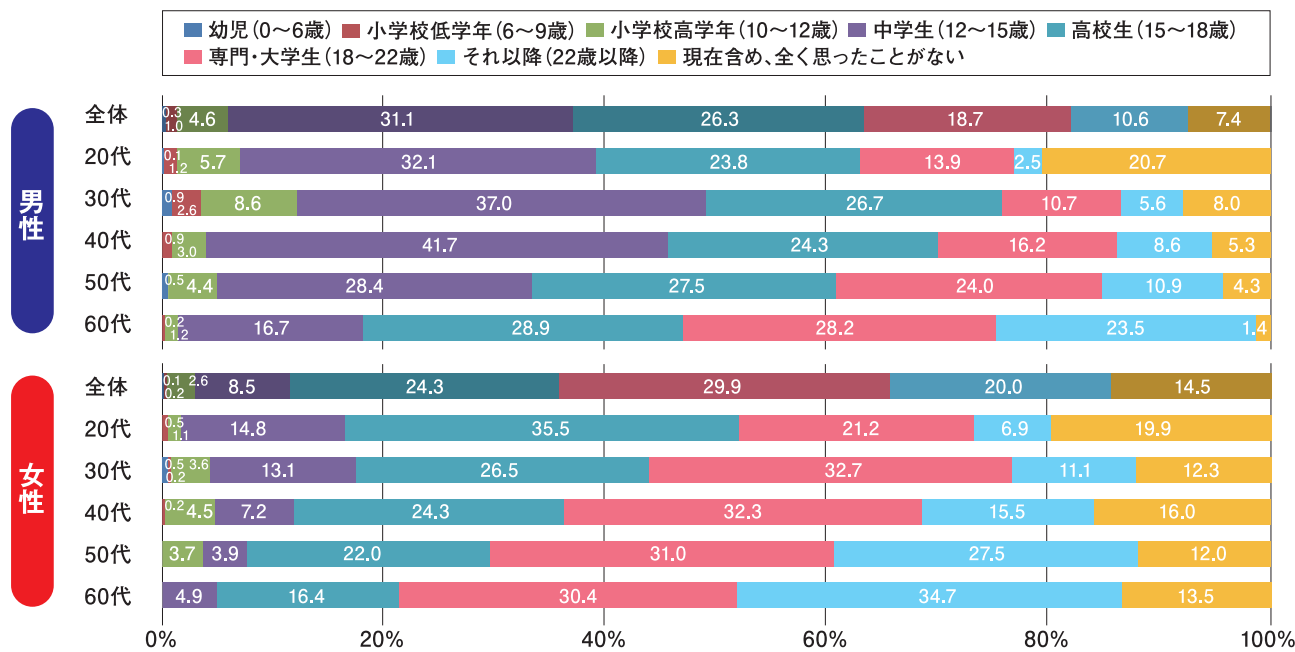
セックス(性交渉)について初めて知った方法(媒体)は?



セックスについて初めて知った方法(媒体)を聞くと、現代の若者は「インターネット情報」と回答している割合が多く、年代が上になるほど、「雑誌・小説」と回答しています。社会環境の変化が「セックスを初めて知る方法」にも大きな影響を及ぼしています。



初めてセックスをしたい(抱きたい、抱かれたい)と思った時期は?



こんな話、信じていませんか?

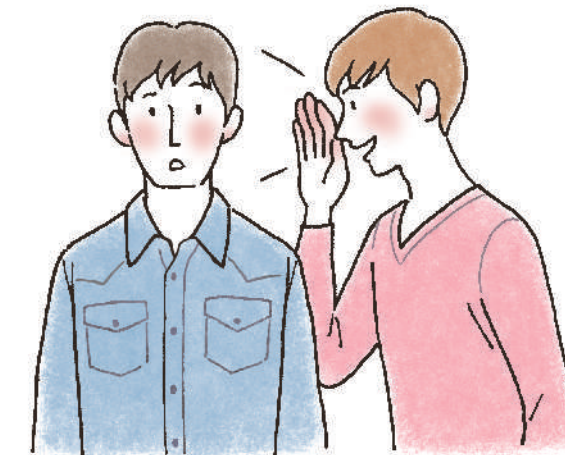
避妊に関する噂・デマ・都市伝説は?

項目	件数
1 コーラで膣や外性器を洗う	323
2 膣外射精(外出し)	150
3 生理中は妊娠しない	94
4 膣内を水で洗う	47
5 射精後逆立ちする	30
5 安全日は妊娠しない	30
7 生理前後は妊娠しない	18
8 ジャンプする	10
9 複数の人とセックスをする	9
10 女性上位(騎乗位)で行う	5

コンドームを使うと妊娠しない	64
ピルを飲むと妊娠しない	32

避妊に関する噂・デマ・都市伝説。漠然と言われていたことが、今回の調査で明確になりました。「コーラで膣や外性器を洗う」が第1位を占めていましたが、何を根拠にこのような都市伝説が長い間、わが国を支配していたのでしょうか。コンドームに次いで避妊方法の一つとして選択されている膣外射精についても、科学的根拠が乏しいということが浸透していません。このようなデマが拡大しているのは困ったことです。

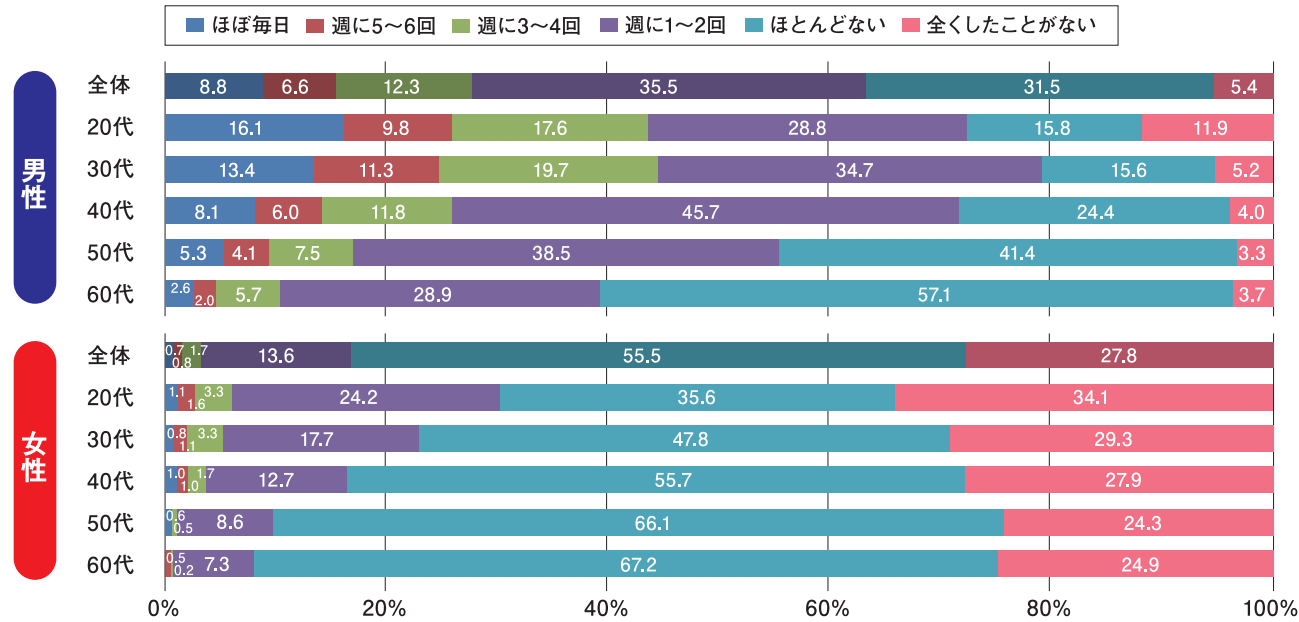
コンドームの使用やピルの服用は、一般的な避妊法として広く知られており、決してデマではありません。正しい使用方法を守ること、より確実に避妊をすることができます。よりよいセックスを実現するためには、男女が互いに協力し合いながら、避妊や性感染症予防を実行していくことが望ましいと言えるでしょう。





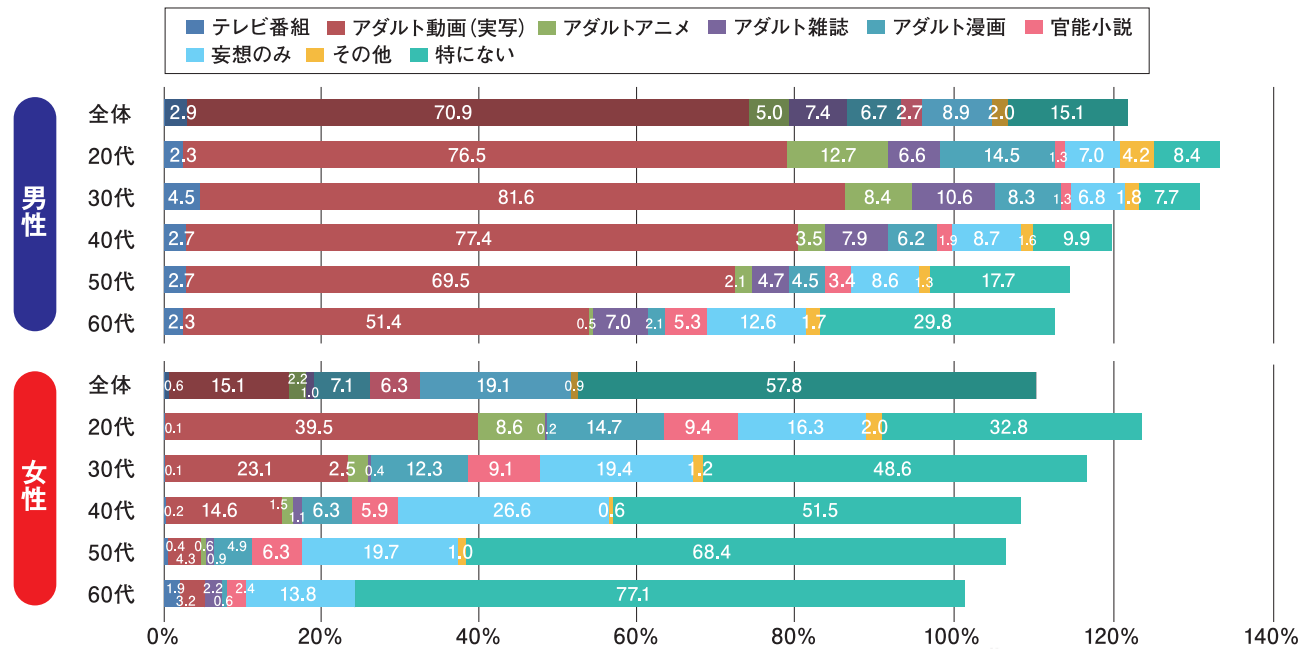
女性の自慰が一般化。男性は2次元へ

マスターベーションの頻度



マスターベーションについては男性の特権というような受け止め方をされてきましたが、男女差が顕著であるとはいえ、女性でも決してまれな行為ではなくなっていることがわかります。特に、20代の女性では30%ほどが割り合い頻繁に行っていることとなります。

マスターベーションのときのオカズ(2つまで)

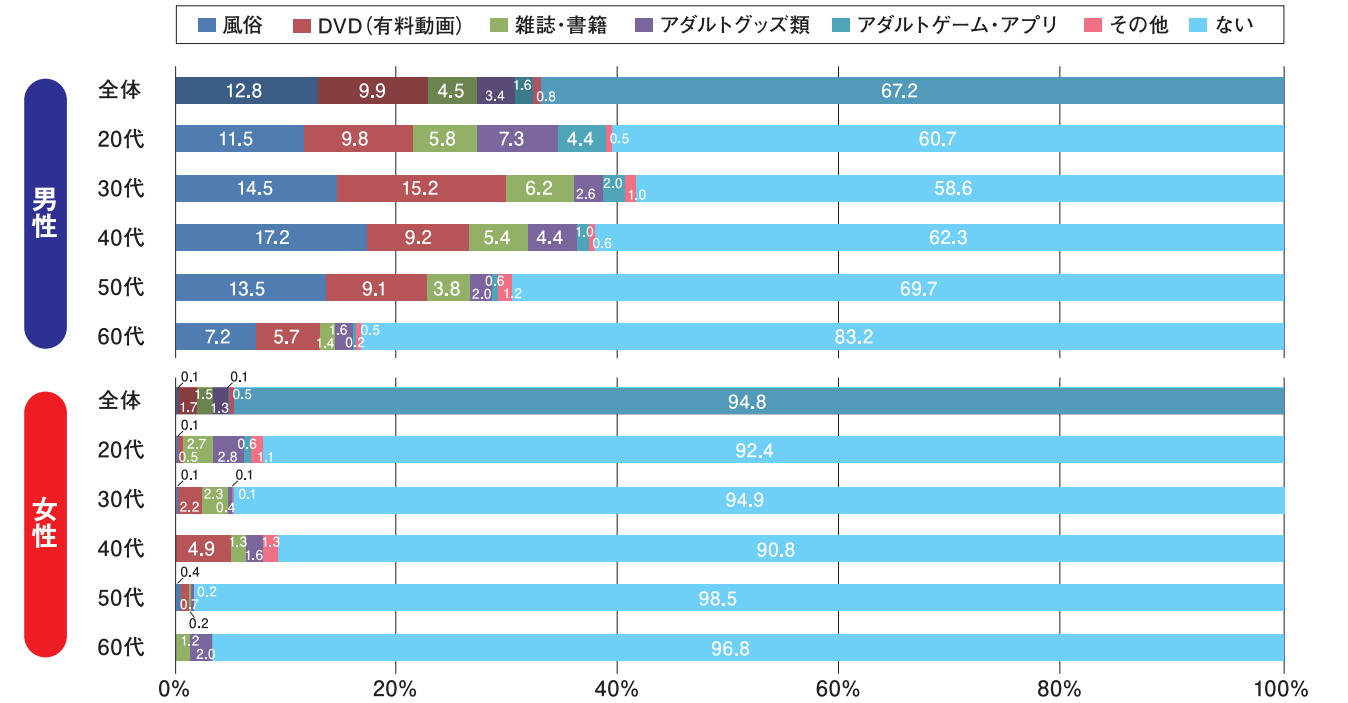


マスターベーションの「オカズ」として挙げたのは、男性では「アダルト動画(実写)」が大半を占め、女性でも20代、30代では高率となっています。男性に比べ女性では「特にない」との回答が多いのは、女性の方が男性よりも想像力、イメージ化が優れている証左ではないでしょうか。



あなたは何にお金をかけましたか？

この1年間、性的嗜好にかけた金額が最も多いものは



性的嗜好にお金をかけるのは男性が女性をはるかに超えていることは言うまでもありません。男性では12.8%が「風俗」と回答しています。男性が性感染症の感染に大きな役割を負っている可能性を否定できません。次いで「DVD(有料動画)」となっています。

